

PTA はボランティア！！



～次世代の加中生に伝えよう・つなげよう～

青木理奈・佐藤直子・足立真理・高橋舞・河合恵美子・馬淵ゆかり・釘宮麻子・長屋直枝・石川敦子・苅田順子

1. はじめに

岐阜駅の南側に位置する加納中学校は、1947年に発足し、今年で創立73周年を迎えます。加納小学校と茜部小学校の生徒が進学し、生徒数は現在528人です。

2. 校区的特徴とPTAの関わり



学区内に大きなお祭りがいくつかあり、生徒が夜間集まる機会があります。また、ゲームセンターやカラオケボックスといった娯楽施設があります。

通学路には国道21号が走っており、県内交通事故多発場所ワースト10のうち、3か所が茜部地区に集中していることもあり、登下校は常に危険がついてまわります。

○地域生活委員→お祭りの夜間パトロール。登校時危険な交差点での月2回の登校指導。

○校区委員、支部長を中心としたPTA会員→夏休み夜間危険場所のパトロール。

3. 地域行事における加中生が主役のボランティア

【夢ふれ愛あかなべ】

茜部青少年育成協議会主催のお祭りに、加納中学校の生徒がボランティアで参加します。ボランティアの内容としては、司会を行ったり、ゲームやお昼ご飯のお手伝いをします。

主催者の方が加中生のボランティア参加を希望された理由は以下の通りです。

○地域とのつながりを大切にできる子どもたちを育てるきっかけにしたい。

○地域に貢献できる人間作りが、大人になったときに地域をひっぱり人材育成につながるため。



4. 加中生のボランティア参加における課題

地域行事へのボランティアが有意義で、生徒だけでなく地域の方々にもよい影響がある反面、校内アンケートでは「ボランティア」の項目がとりわけ低い結果となっています。それは、主に週末に行われる「ボランティア」は、部活動などがあるため参加しにくいからと推測されます。

5. 加中生も参加しやすいボランティア

【リサイクルバザー】

生徒自身がボランティアを身近に感じてもらえる活動をPTAが協力してできないか考えました。また、大人がボランティアを行う姿を見せることも、大切だと考えました。そこで今まで、保護者だけで行っていた「リサイクルバザー」を、学校内で昼休みに生徒と保護者が一緒に行う活動にしました。



1、2年の生徒に呼びかけたところ、約90人の生徒が参加してくれました。生徒が中心となり、会場の設営準備、ディスプレイ、接客、案内、呼び込み、会計といった仕事を学年委員会と協力して行いました。

6. PTAはボランティア！？

PTAが生徒たちのボランティア活動を考えたときに、保護者自身のボランティアのあり方を考えるきっかけとなりました。

以前は、生徒が入学すると同時にPTAに入会にしていたのですが、入会を自由意志とし、入会届を提出するように規約を変更しました。

2020年度は、各委員会を立ち上げず、「登校指導」、「白衣修繕」、「リサイクルバザー」はボランティアを募っての活動となります。少しずつではありますが保護者の意志で活動するPTAと変わっています。

本当の意味での「PTAはボランティア」を目指して。